

## 「もえるごみ袋増額」の再検討を求める要望書

長久手市は、令和3年8月に「もえるごみ袋の増額を予定しています！」のチラシを全戸配布した。「現在、ごみを減量するため、令和5年7月からもえるごみ袋の増額を考えている」という内容であったが、議会へは「決定した内容ではなく、地域で市民と行政が意見交換を行う場を準備し、市民と相談しながら決めていきたい」と説明があった。

令和3年10月から12月までに32回の地域意見交換会が行われ、194名の市民に参加いただいたが、残す意見交換会は新型コロナウイルス感染症への配慮から中止となった。

令和4年1月24日、市民から「もえるごみ袋増額に反対する署名」1,883筆が市長に提出され、2月7日、市議会議長へも「ごみ袋値上げの中止に関する要望」が提出された。

また、地域意見交換会などで市民から寄せられた要望や意見、各議員の一般質問を通じ、もえるごみについて多くの課題が浮き彫りになった。

ごみ処理は全市民の毎日の生活に関わる問題であり、多くの課題について行政と市民の合意形成が不可欠である。

このため、もえるごみ袋増額の前に、今回浮き彫りになった多くの課題解決について施策を講じる必要があることから、もえるごみ袋の増額について再検討を求める。

令和4年 月 日

長久手市議会 総務くらし建設委員会